

場所

龍谷大学深草キャンパス
成就館1階
ボランティア・NPO活動センター

開室時間

月水木金 9:00~17:00
火 10:45~17:00
※土日祝閉室

来てね~



公式HP



Twitter



Instagram



発行:龍谷大学ボランティア・NPO活動センター
深草キャンパス学生スタッフ
〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町 67
Tel:075-645-2047
FAX:075-645-2064
E-mail:ryuvnc@ad.ryukoku.ac.jp

後期号

ボラゴン

龍谷大学ボランティア・
NPOセンター



前期のボラセン

新歓で始まり、学生企画のウクライナ募金やボランティア入門講座、瀬田深草合同オリエンテーションなどなど、私たち学スタは様々な活動を行ってきました。その一部を以下で紹介します！

＜ウクライナへの募金活動＞

募金活動は5月23日～6月2日の期間中の5日間、深草・瀬田・大宮の3キャンパスで実施しました。学生スタッフと一般学生合わせて67名が募金活動を行い、募金総額はなんと約20万円！集まったお金は、龍谷大学の行う『ウクライナへの人道支援募金』に全額を寄付しました。この募金活動を通して、ウクライナに対してのみならず、国際問題について考えるきっかけとなりました。



＜ボランティア入門講座＞

入門講座は、毎年前期にボラセンが行っている、ボランティア初心者のための講座です。ボランティアに興味はあるけれど経験した事がない人や、何をしたらいいのか悩んでいる人にオススメです。今年は選んだ団体さんの事前学習を行ってから、実際にボランティアに行きました。ボランティアを体験する際には、ボランティア経験のある学生スタッフやコーディネーターが同行するので、初体験の人でも安心して参加できます！今年度も無事に終わることができました★



スタツア体験談



福島スタディーツアー2022

体験者 文学部2回生 太田雄斗

私は8/6-8/10に行われた、福島スタディーツアーに参加しました。福島県は東日本大震災により大きな被害を受けた県で、地震や津波のみならず原子力災害にも襲われました。

最も印象的だったのは、災害による影響が今も続いているということです。大熊町や双葉町などには今も数多くの立ち入り制限区域があり、発災当時のまま残された建物も見られました。また、土壌が汚染されたことにより、表土を入れ替えてもそこでは作物が順調に育たなくなったというお話も聞きました。



↑ 福島市内の梨農家さんからお話を聞きました。

そして海岸沿いには、どこまでも続く草原と雄大な海が広がる美しい光景がありました。そこはいくつもの集落があったものの津波によりほとんどが流された場所でした。消滅した集落もあるようです。目の前に広がる風景の美しさの本当の意味を知った時、津波の恐ろしさを強く体感しました。

ツアーでは、現地で活動するさまざまな方からのお話も聞くことができました。現地に行くことで分かること、聞けるお話が数多くありました。このツアーに参加し、五感で福島のいまを感じました。今後も福島に足を運び、防災・減災など日本のいま抱える問題の解決に少しでも役立てていきたいです。



(経済2 小木曾、経済1 松田)

普段のセンター活動



・ボラセンってどんなところ？

〈ボラセンとは〉

龍谷大学ボランティア・NPO活動センター(ボラセン)は学内に向けてボランティアを広め、来室者にボランティア先を紹介しており、ボランティア先と来室者を繋ぐ架け橋となっています。ボラセンでは、職員、教員だけでなく学生スタッフも活動しています。

〈学生スタッフの活動〉

学生スタッフはボランティアを広めるために、空きコマを利用してシフトを組み、来室者にボランティア先を紹介するボランティアコーディネーションや、チラシの配架や整理などを行っています。

また、シフト中の活動だけでなく、自らボランティアに参加したり、学生スタッフ自身が様々な企画を提案・運営することもあります。その他にも、ボラセンをより良くしていくために学生スタッフ間で意見交換や報告などをするスタッフミーティングを行ったり、瀬田キャンパスにあるボラセンと合同で企画の審議や報告などをするボラセン会議を行ったりしています。



・耳寄りボラゴン情報

ボラセンでは、【傘の貸し出し】と【本の貸し出し】を行っています。

もし急に雨が降ったら、、、こういう時とても困りますよね。そんな時には、ぜひ気軽にボラセンにお越しください！忘れ物の傘をリサイクルして貸し出しており、通常の傘から折り畳み傘まで取り揃えています。

また、ボラセンにはボランティアに関する本が豊富にあります。NPOやNGOに関する本だけではなく、チーム運営やミーティングの進め方に関する本などもあるので、ボラゴンを読んでくださっているあなたに興味のある本がきっと見つかるはず！

傘を借りに来たついでに、ボラセンで雨宿りして、本を借りたり、ボランティアを探してみても良いかもしれませんね！

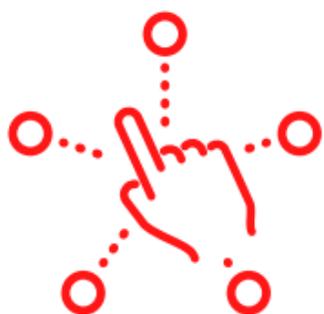


ボラセンの魅力

利用者にとっては

1. 豊富なボランティア

ボラセンでは環境系、教育・子ども系、福祉系等といった分野別に分けられた状態で整理されているので自分が求めるボランティアを簡単に見つけることができます。



2. 学生スタッフによるボランティア相談

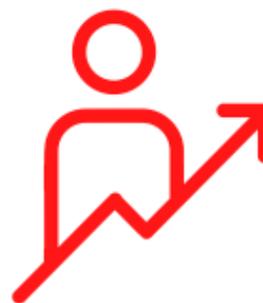
ボラセンには学生スタッフが在中しているため、学生目線で相談に乗ることが出来ます。また、学生スタッフのボランティア体験談を聞くことでボランティアの事を深く知ることも出来ます。



学生スタッフにとっては

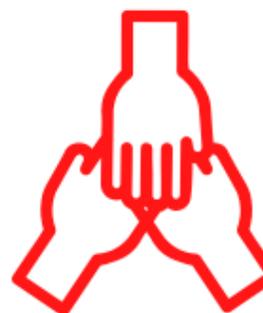
3. 学生スタッフ自身のスキルアップ

学生スタッフは自分達で企画を立案・運営することも出来ます。それによって企画力やチームワーク力などが身に付きます。



4. 活動を通しての仲間づくり

ボラセンにはボランティア相談だけではなく、学生スタッフの間の交流や学習会など様々な活動もあります。また学生スタッフ同士と一緒に企画を行ったり、ボランティアに参加したりしています。ここは仲間づくりの場所ともなっています。



学スタ21人に聞きました！

Q.初めて行ったボランティアは？

- 1位. 京都風緑(7人) 環境分野
- 2位. プラネット(3人) 障がい者余暇支援
- 2位. 梅小路プレイパーク(同率) 子ども



Q.ボランティアを通して成長できたことを教えて！
(複数回答可)

- 1位. 様々な視点から世界を見られるようになった(18人)
- 2位. 色々な人と話せるようになった(5人)
- 3位. 知識が増えた(4人)

and more!!

ボランティアをすることで、日頃かわりのない人とも交流できる良い機会にもなります。なにか新しいことにチャレンジしたい！と考えてる人にもボランティア活動はおすすめです。

ボランティアはいつでも募集しています。上記のもの以外にも多数あるので、少しでも興味がある方は一度ボラセンに足を運んでみてください！

学スタクローズアップ！！

入ったばかりの1回生と、すっかりベテランの2回生に直撃!!
「ボラセンに入った理由と今後やりたいこと」をテーマに、率直な想いを綴ってもらいました！



法1 ぶっちー

ボラセンに入ろうと思ったきっかけは、友達に誘われてボラセンの説明会に行ったことです。そこで活動について説明を受けて、ボランティアに関わることに興味を持ちました。実際にボラセンに入り、センター主催のイベントに参加したり自分がコアのメンバーになって企画を運営したりする中で、貴重な経験をしていると感じます。今後は、自分が主体となって新たな企画を作りたいです。

ボラセンに入ろうと思ったきっかけは、ボランティアサークルと勘違いしていたからです。最初は勘違いで入りましたが、活動していくうちにどんどんボラセンの活動の奥深さにのめりこんでいきました。

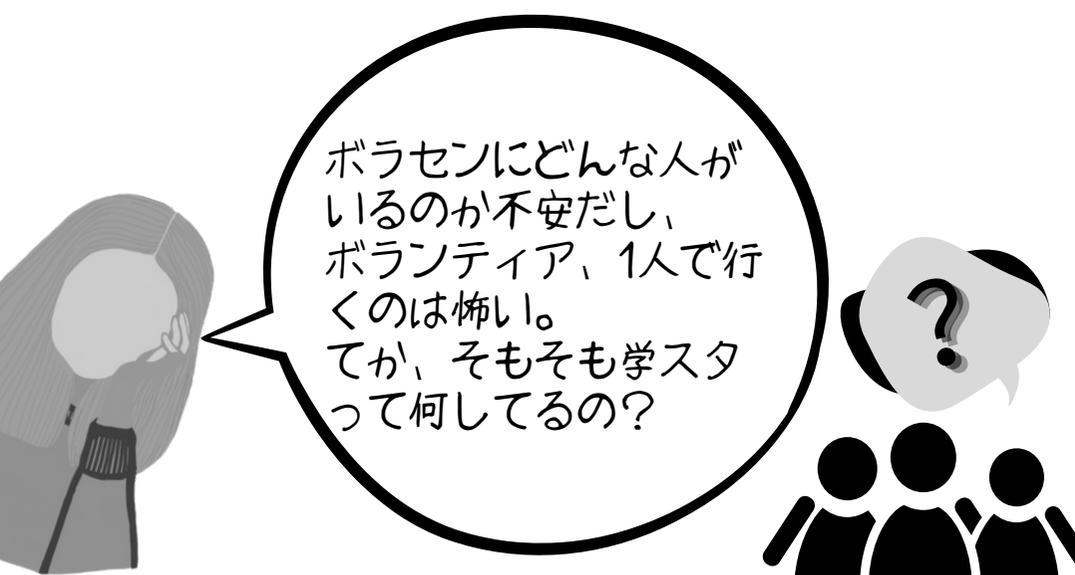
ボランティアに参加するサークルではありませんが、学生スタッフ同士でいろんなボランティアに参加することはとても楽しいです。今後もジャンルを選ばず、様々なものに積極的に参加していきたいです。



法2 えのき

Gakusta interview time

<ボラセンに、こう感じた人はいませんか？>



ボラセンにどんな人がいるのが不安だし、ボランティア、1人で行くのは怖い。てか、そもそも学スタって何してるの？

○このページでは…

そんな疑問を少しでも解消できるように、現在所属している1回生、2回生そして、卒業された先輩にインタビューしてきました！その内容を紹介していきます！

Let's Go!!

<学スタになってみて、ボラセンの魅力は？>

国際学部 1回生 ニコさん



みんな優しくて、雰囲気も明るくなじみやすいです！普段の活動においても、丁寧に教えてもらえて嬉しかったです。ただボランティアをするだけではないので、将来の社会生活において役立つ知識がたくさんあります！

<ボランティア体験を教えて！>

経済学部 2回生 かけくん



子どもと遊ぶボランティアに参加しました！けん玉、水風船、鬼ごっことか色々しました。同級生のスタッフとも一緒に行って、楽しかったです！その他、近くにいた高校生が混ざるなど、幅広い出会いがあります！

<学スタになって得たものはなんですか？>

政策学部 卒業生 シェリーさん



幅広い世代の方々や役所、社会人の方と関わることによって、事前に社会体験ができました！また、正しい言葉遣いや最低限の社会常識を身につけられます！ボランティアの種類によっても幅広い社会に触れることができます！

ボランティア保険について

ボランティア保険とは、ボランティア先で自分がけがをしてしまった時や何かを壊してしまった時、人と関わるボランティアで相手の方にけがを負わせてしまった時などに出る保険のことです。300円で幅広く補償がきくため、ボラセンでは加入を推奨しています！

- 申し込み方
- ①右の用紙に必要事項を記入
- ②入金
- ③用紙をボラセンへ！

氏名(フリガナ)		学籍番号	携帯番号
住所 〒 -			
活動開始日 (自宅出発日から)	月	日	～
活動予定内容 (※分かれば記入)	加入プラン	受付印	
活動団体 (※分かれば記入)	S・A・B		

《龍谷大学 ボランティア・NPO活動センター 控》

ボランティア保険申込書(本人控え)

ボランティア保険の保険料(円) および申込書を預かりました
 振込控(円) および申込書を預かりました
 返金開始日(予定) 月 日
 龍谷大学 ボランティア・NPO活動センター 深草 / 湯田 (加入者控え)

- 一度加入すると次の年の3月31日まで有効(年度更新)
- いろいろなボランティアで有効
- 加入すると左の加入者カードがもらえる



入ることが義務付けされているボランティアもあるので要注意！

※災害系のボランティアは、プランが違うのでまた別に加入が必要

ボランティアの応募方法

- ①気になるボランティアのチラシをチェック！HPなどを見してみる。



- ②ボランティア先に応じた形で応募(TEL・Googleフォーム・mailなど)



締め切りに注意!!



何かわからないこと、不安なことがあれば
ボランティアNPO活動センターへ！

(文学2 的場、経営2 小倉)